



夢実現・挑戦

津奈木中学校学校だより

令和7年7月4日

第4号

文責：校長 内場

6月は心のきずなを深める月間

本県では6月を「心のきずなを深める月間」とし、学校・家庭・地域が連携して「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指して、いじめの未然防止に重点を置いた取組を実施するようにしています。



スマホ安全教室

八代人権擁護委員協議会のご協力のもと、スマホ安全教室を実施しました。当日は、NTT DOCOMO によるリモート講話があり、全生徒で「上手な情報活用とリスクを考えよう」をテーマに学習を進めました。学習では、様々なシチュエーションでの「リスク」について自分の中でのランキングを考え、それを人と比較するという形で進められました。当然のことですが、自分の思うリスクと人のそれとは違いがあり、自分の考えだけでSNSを利用することの危険性についてしっかりと考えることができました。



スクールロイヤー講話

6月11日(水)、弁護士の方に来校いただき、法律の視点から「いじめ防止」についてのお話をさせていただきました。講話では、様々な事例を出していじめの定義について考えました。生徒の中も、「改めていじめの定義を知った」「これは『いじめ』なのかと意見が分かれそうなものがあった」など、自分事としてお話を聞いていることがうかがえる感想が聞かれました。この高まった意識を、実行に移して、津奈木中からいじめをなくしたいです。



グッジョブカード



6月20日(金)生徒集会が行われました。今回は学級委員会の発表で、本校で取り組んでいる「グッジョブカード」が紹介されました。「グッジョブカード」とは生徒たちが学校生活の中で見つけた友達の良い行動を称賛するものです。生徒から提出されたカードを学級委員が紹介し、学級委員の「グッジョブ」の呼びかけに続けて「パンパンパン」と手をたたき、その行動を称賛します。

この日はたくさんのカードが紹介されました。自分自身もそうですが、人の悪い部分は気づきやすいもの。その反面、良さは「見つけよう、気づこう、認めよう」という意志がなければなかなか気づけないものです。生徒たちが、こうして友達の良さを見つつけようとしている行動そのものが非常に尊いことだと感じます。このことは、お互いを尊重し合う豊かな人権社会の創造につながっていくはずです。期待しています。

人権集会

6月27日(金)、「心のきずなを深める月間」の締めくくりとして「人権集会」を行いました。今回は、各学級で実践した人権学習を基に考えられた人権宣言の発表を行いました。

- 1年…全員が自分の意見を持ち自分の考えをしっかりと伝えられる雰囲気のあるクラス
- 2年…どんな人でも過ごしやすい雰囲気をつくります
どんな人とも助け合える関係を築きます
- 3年…物事を人任せにせず自ら進んで考動します

一人一人の思いを形にし、形を行動に移してこそ集団としての変化(成長)が見られるものです。自分たちで掲げたこの人権宣言を形だけの宣言で終わらせないようにするために、これからどう行動していくかが大切です。一人一人が豊かな学校生活を送れるよう、がんばりましょう。